



2022-2023 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

例会日 : 毎月第2・第4水曜日

場 所 : 各務原市産業文化センター2階

住 所 : 各務原市那加桜町2-186

TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長 : 左高 洋 幹 事 : 金武 峰之

副会長 : 小島 博彦 会 報 : 松原 竜二

本日のプログラム 1)2022年12月14日(水) 11:00~

交通安全PR活動

場所:各務原市民公園南東部交差点付

次回例会の予告 2)2022年12月20日~12月23日

クリスマス交流例会

場所:市内各保育所

出席委員会

会員総数 30名(出席免除3名)
(2022.7.1 現在)

前 回 11月9日 補正後出席率 40.74 %
前々回 10月22日 補正後出席率 62.96 %

~ 外部卓話 (職業奉仕委員会 委員長 原尾 勝 様) ~

司会進行

金武 峰之 幹事

お客様ご紹介及び会長挨拶

左高 洋 会長

皆さん、こんばんは。本日は寒い中ご参加頂き有難う御座います。先ず初めにお客様の紹介をさせていただきます。地区職業奉仕委員会 委員長 原尾 勝 様 (岐阜北ロータリークラブ所属) をお迎えしております。本日はどうぞ宜しくお願い致します。題目としまして『平和と職業奉仕』についてお話しを頂きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

10月は、セミナー、パークレンジャー、地区補助金、地区大会と沢山ありましたが、ご参加頂きまして有難う御座いました。先日開催されました地区補助金事業について、少しお話しさせていただきます。今期も含め地区補助金事業は、スポーツ課、スポーツ少年団の協力の下、市内各スポーツ少年団に於けるスポーツの普及を図る目的で、毎年開催しておりました。ホッケーから始まり野球、バレー、サッカー、そして次年度陸上・少林寺拳法で一周します。そこで次々年度の地区補助

金事業について、会長の意向もありますが何か良いご意見がありましたら是非事務局までご連絡を頂けたらと思います。宜しくお願いします。

インターアクトクラブについてですが、前回も少しお話しさせて頂きましたが、ここ数年コロナで活動を自粛していたこともあり、各務原高校より正式にインターアクトクラブ廃部の報告書が届きました。理由としましては、各務原高校の生徒数の減少、そして部活動の規定人数に満たない場合は廃部、といった高校の考えもあり残念ながら廃部に至りました。インターアクトクラブの活動は、青少年奉仕の一つでありロータリークラブとしましても地域に根差した活動でもあります。現在別の高校に打診をしている状況です。各務原ロータリークラブとしましては、引き続きインターアクトクラブを継続していく所存ですので宜しくお願いします。以上、本日もどうぞ宜しくお願いします。



IMAGINE
ROTARY

イマジン ロータリー

第2768例会 No.0706

令和4年11月9日(水)



3分間スピーチ



竹田 克茂 君
皆さん、こんばんは。最近皆さんに良く聞かれます「顔の黒さ」についてお話しさせていただきます。コロナに入って3年程経ちますが、丁度3

年前の6月からダイビングを始め、そしてその夏の終わりからサーフィンを始めました。昔から海は好きでしたが、大人になってから海に行く理由が中々見つけれませんでした。子供と海水浴に行く訳でも、黄昏に行く訳でも無く、ただ海が好きという理由だけで行きたいな、と思っていたところコロナが始まり、する事が無いなか中学校の同級生がサーフィンをやっていたのがきっかけで始めました。ダイビングは沖縄に行った際に始めたのがきっかけでした。ダイビングは頻繁には出来ませんが、サーフンは今でもやっています。先日の日曜日も行ってきました。外の空気は寒いですが水の中は温かく、天気も良いのでそれなりに顔も焼けてしまいます。又とても難しいので未だに2秒~3秒板の上に乗っているのが精一杯です。よく「それだけしか乗れないの」と聞かれますが、本当に乗れないんです。聞く話によると5年~6年毎週通っていてソコソコ乗れるようになるのが普通らしく、冬も頑張ろうねと言われますが、私は12月からオフシーズンの為お休みします。日本海側でしか出来ませんし、一度経験しましたが死ぬかと思いました。日常の生活はこの様に過ごしております。夜の部活動は全く興味が無くなり「ダメだよ」と言われますが、本当に興味を失っております。今はサーフィンと、5年続けています筋トレを主に嗜んでいます。商売はコロナを迎え3年目になりますが、微増微増できましたがここ最近調子が好いです。求人もタウンワークの方の考案により2名採用が決まり、無事年を越せそうです。ロータリー活動も一生懸命頑張っていますので、皆さん優しい目で見守って下さい。

報告



松井 雅史 会長エレクト
皆さん、こんばんは。先日11月5日(土)に地区のR財団研修会へ出席してきました。私は今回で2回目の参加になります。次年度会長

職の方が多く参加しておりますので地区補助金事業についてのお話しがメインで、補助金を活用し積極的に活動を行いましょ、という内容でした。私達が寄附しています年次基金(150\$寄附)を一旦プールし、3年後プールした50%を地区補助金として分配します。ただ寄附しているだけではなく、3年後の地区補助金事業の為の貯金をしているのでどんどん挑戦し、賢く使うという内容のご講話を頂きました。更にこの地区補助金事業は毎年新しい事業を短期で行う活動であり、継続して行う活動ではありません。因って3年に1度位は目立った活動を行い、公共イメージに繋げて行って欲しいとの事でした。また興味深いお話しも頂きました。京都大学の医学部を卒業後、グローバル補助金でイギリスのロンドン大学へ留学された方の基調講演がありました。京都大学の医学部は、看護課、リハビリ課も医学部でこの方も医学部で看護師の資格を習得し、ロンドン大学で公衆衛生、統計学(経済と健康)についての勉強をし、現在は厚生労働省に入省した経緯のお話で大変有意義な内容でした。世界の経済に寄与するという一例で、アメリカのウォルトマーケットの経営方針が経済に与えるインパクトの大きさ。そして健康に関しても、大企業の取り組みが世界の健康志向も動かせる、そういった事を研究している方で、とても勉強になりました。現在各務原ロータリークラブでも、この補助金で留学を希望されている方がみえ、地区の委員長と検討中です。この方も、京都大学 医学部とオーストラリアのクイーンズ大学 医学部に在籍しており、今後更にイギリスのオックスフォード大学又はケンブリッジ大学に留学を希望しています。可否の結果が年明け1月ということなので、一度面談し色々お話を伺いたいと思っています。当初はこの方も医者を目指されていると思いましたが、この講和を拝聴した後、研究の方面に

進みたい事も同時に分かりましたし、医学以外にも健康と経済の関わりが論理的に理解出来、今後支援する予定の方が無事留学した際は、卓話の中でこの様なお話が聞けるかと思うと、とても楽しみです。仮に合格をしても、イギリスでの受け入れ先クラブを選定するのにかなりの時間を要する事も懸念されています。今、イギリスは留学先として大変人気があり、受け入れ先が見つからない可能性も視野に入れ取り組んでいきたいと思っております。



親睦ゴルフ結果報告

10月17日 東海北陸道グループ クラブ対抗ゴルフコンペ (明智ゴルフ倶楽部 荘川ゴルフ場にて開催)

- 1位：松久 茂彦 君
- 2位：小林 幹男 君
- 3位：山田 昭仁 君



団体優勝：各務原ロータリークラブ
おめでとうございます♪

ヒコボックス報告 R財団委員会 竹田 克茂 委員長

・原尾 勝 様 本日卓話を担当します地区職業奉仕の原尾で御座います。宜しくお願ひ致します。

・左高 洋 会長 地区職業奉仕委員会 原尾様、本日は宜しくお願ひします。

・金武 峰之 幹事 皆様こんばんわ。原尾様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

・小島 博彦 副会長 地区職業奉仕委員長 原尾様、本日は宜しくお願ひします。

・松井 雅史 会長エレクト 原尾様、お越し頂き有難うございます。卓話、どうぞ宜しくお願ひします。

・藤井 孝一 君 皆既月食、大変綺麗でした。天王星食は肉眼では無理でしたが、ニュースで見ました。前は442年前(1580年 織田信長の時代)とのこと。びっくりしました。次回は330年後の事。素晴らしいものを見ました。

・平井 正晴 君 原尾委員長、本日はご苦労様です。宜しくご指導願ひします。

・大野 広 君 原尾様、本日の卓話宜しくお願ひします。

・可児 昌則 君 例会場での例会は久しぶりのような気がします。

・片岡 紀生 君 職業奉仕委員長 原尾様、本日は宜しくお願ひします。

・竹田 克茂 君 原尾様、本日は宜しくお願ひします。

本日のプログラム 卓話

地区職業奉仕委員会 委員長 原尾 勝 様
題目『平和と職業奉仕』



皆さん、こんばんわ。本日は、千玄室大宗匠様が各務原にあります航空自衛隊岐阜基地で、平和と職業奉仕についてお話頂いた内容が大変良いお話でしたのでお聞き頂ければと思います。

3月25日に、国際ロータリー 第2630地区 職業奉仕特別大講演会という事で「みんな一緒 平和を」という題目で、千玄室様にお越し頂き講演をして頂きました。千玄室

様は、日本・国連親善大使、国際ロータリー元理事、裏千家 15 代前家元、そして元特攻隊員という事で是非、航空自衛隊岐阜基地のパイロットの皆さんに聞いて頂きたい、という事で実現しました。

ロータリー活動では昭和 29 年、31 歳の時に京都南ロータリークラブに入られました。

プロフィールは、大正 12 年生まれの 99 歳、数えて 100 歳になります。足腰は丈夫で背筋も真直ぐ、歩く



スピードがとにかく速いです。41歳の時に千利休居士 15 代家元を継承し、千宗室を襲名しました。その後は茶道文化の浸透と世界平和を願い世界各国を歴訪しました。訪れたことが無い国は、北朝鮮とアフリカの一部の地域のみとなります。

祖先は千利休で、今の群馬県里見家になります。北条氏に滅ぼされ、足利 義政に仕えます。「相阿弥」「能阿弥」という「阿弥」がつく文化補佐官で、「千阿弥」という飾り付けをする仕事や、御蔵番をしていました。その後足利家が滅び、子と共に大阪の堺へ逃れます。当時堺は「天領」であり自由貿易で栄え、町衆が大きな力を持っていました。これを「納屋衆」と言い、紀伊国屋文左衛門をはじめ堺は南蛮貿易等で大変潤っていましたが、利休は商人に向かないと思い京へ行きました。

千玄室は、茶家であり武家であった事から文武両道の精神を鍛えられ 8 歳の頃から馬に乗り、中学の頃には軍事訓練、兎に角身体を鍛えていました。そして中学の先生からは、「満蒙開拓少年団に行くとか、予科練とか少年兵になって陸軍や海軍に行くのも良い」と言われておりました。当時 18 歳以上の文系学生は、全員徴兵検査を受ける事が義務となっておりました。そして大学 1 年生の時に、海軍の訓練生という水上機班や陸上班の募集（於：大津の琵琶湖）を大学の掲示板で偶然目にし、水上機をやってみようと応募しました。関西の大学からは 20 名が選抜され、見事合格しました。水上機の訓練では、カ

ッターの訓練、手旗、通信、飛行作業等を習いました。その中でも水練は特に大変でした。その後、土浦の海軍航空隊に入隊しました。そこは選抜された優秀な学生ばかりで、試験に次ぐ試験でした。合格者は士官候補生となりますが、落ちると海兵団に戻り、水兵となるため皆必死でした。その後、徳島の海軍航空隊にて搭乗員 200 名程の特攻隊、特別攻撃（特攻）の命が下りました。「命」と言っても「命令」ではなく特攻隊に志願するか否か紙に書いて出すというもので、紙面には「否・希望・熱望」と記載されており、そこに○を付け名前を書いて提出するものでした。当時は「行きたくない」など言え無いため「熱望」に二重丸をつけ出しました。そこへ神風（じんぷう）特別攻撃隊に対し、待機命令が出されました。これは命令なので待機するしかありませんでした。その後昭和 20 年 5 月に、鹿児島県にあります鹿屋（かのや）海軍基地（S20.5.19）へ移転しました。ここでも訓練をしながら特攻の命が下るのを待っていました。その間お茶が飲める茶箱のセット旅篋（たびだんす）を持ち歩き皆にお茶を点てて飲んで貰っていました。

千利休もかつては、旅篋を持ち歩き織田信長や豊臣秀吉と一緒に戦場へ行き、お茶を点てて飲んで貰っていたという古い歴史があります。

当時、裏千家の家の前を通学していた福岡出身で京都帝国大学出の少尉が『千ちゃん、頼みがあるんや。俺、生きて無事帰って来たら千ちゃん家の本格的な茶室で本マモンのお茶を飲ましてや』これを聞いた時『俺達はもう帰れないんだ』と思い、胸の中が張り裂けそうで今でも声が聞こえてきます。そして彼は、一週間後に出撃して逝きました。

当時は、『帝国海軍士官としてみんな誇りを持って死んでくれ』この様な訓示ばかりでした。君達は、『死にに来てくれたんだ、死にもの狂いでやれ』一年半掛かる処を 10ヶ月でやれ！朝から夜まで訓練！訓練！訓練！そして飛行機詰めで大変でした。「今だから言えますが、当時の整備員は本当に凄かった。あんなオンボロ飛行機を飛ばすようにするんだから」、とお話しされていました。また南方戦線の硫黄島、フィリピン等は凄く、随分戦死しました。ビルマ戦線では、挟み撃ちにあつて飢餓戦線になり皆倒れていき、一中隊で 3 人位しか残りませんでした。

北方へ行った者は、皆ソ連の捕虜となり強制労働を強いられていました。5年経ち生きて帰って来た者は、皆幽霊みたいでした。あの国は本当に酷い国です。世界で唯一の被爆国である日本がウクライナの事を『他山と思っははいけない。皆で助け合わなくは』と提唱しました。

前浦田ガバナーは、34地区ある中で一番最初にウクライナ難民に支援をし、その後消防車が欲しいと言う声に対し、中古の消防車を何処よりも早く手配し支援致しました。

この戦争はいったい何だったのか。戦後77年間、『私は、じくじたる思いで生きてきました。皆の顔が浮かびます。私の背後には特攻で戦死した人がいます。戦友たちは『自分が死ぬことで国が救われる』という気持ちで飛び立って逝きました。』

421柱、その連中が平和ボケしている今の日本を見たらどう思うか。そのことを考えると本当に申し訳ない気持ちになります。毎年、靖国神社で陸・海軍の戦没者慰霊祭がありますが、私は生き残りとして毎年参列しております。

このような事が起こらない為には、ロータリーでいう超我の奉仕の精神が必要なのです。

「ServiceaboveSelf」自分を乗り越えた奉仕の精神です。浦田直前ガバナーの地区方針にもありました様に、『つねに超我の奉仕 (ServiceaboveSelf) を胸に』『先ずは自分のことよりも世のために役立つ事をしましょう』これこそがロータリーの目的 (綱領) である『奉仕の理想 (理念) 』

ここにありますが「サービス」とは「奉仕」ではなく「世の中の為に役立つ」という意味であります。

「奉仕の理想(理念)」とは、

1、超我の奉仕 (第1のモットー)

「Service Above Self」

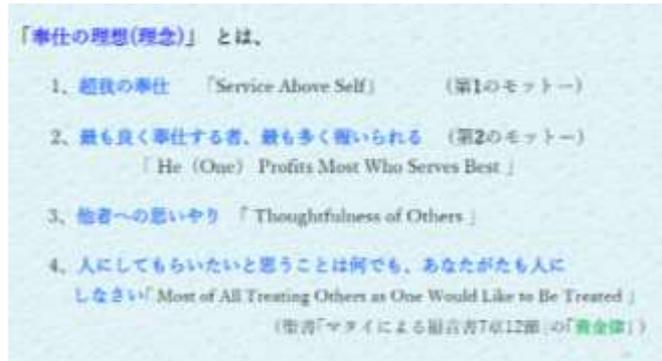
2、最も良く奉仕する者、最も多く報いられる (第2のモットー)

「He (One) Profits Most Who Serves Best」

3、他者への思いやり「Thoughtfulness of Others」

4、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい

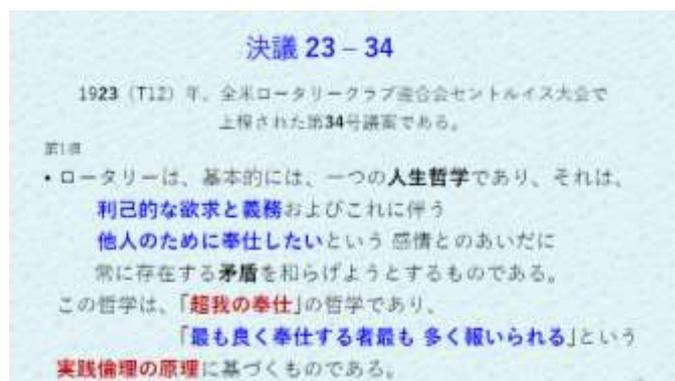
「Most of All Treating Others as One Would Like to Be Treated」



すなわち「他人のために尽くすことが自らの幸せであり・喜びである」という他人に奉仕すること自体を目的とする「利他主義」の思想であり、これがロータリーの考えであり、「奉仕の理想 (理念)」であります。

「決議23 -34」とは、23年全米ロータリークラブ連合会セントルイス大会で上程された第34号議案であることから「23-34」と言われています。ロータリーは、基本的に一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う。

他人のために奉仕したいという感情とのあいだに、常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、「超我の奉仕」の哲学であり、「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。



昭和45年頃から3Hプログラム、ポリオプログラム等の人道奉仕を団体奉仕として進展させるために、クラブの奉仕の自治権や個人の人格向上を理念とする決議23-34は、その進捗を阻むものと考えられ再三規定審議会に廃止案が上程されました。そしてこれを憂いだ千宗室RI理事 (1998年-90年に国際ロータリー理事就任時) をはじめ、日本の歴代RI理事の「闘争」と称した多大な努力によって撤廃を免れてきました。

2010(H22)年の規定審議会に於いて周知な準備を行い、日本より上程された「決議23-34の第一項を奉仕の哲学の定義とする」との決議案が、ビチャイ・ラタクル元RI会長の応援演説を得て、絶対多数で採決されました。

決議23 -34

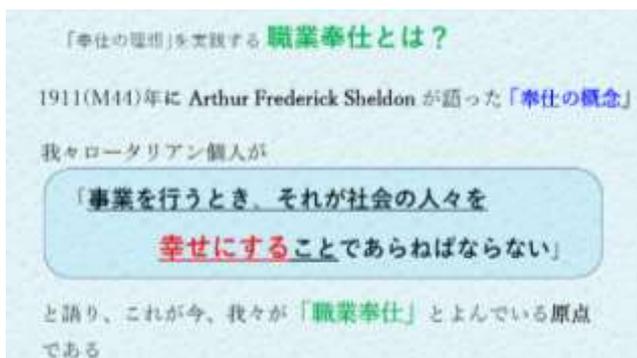
第1項

ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は、「超我の奉仕」の哲学であり「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。

「奉仕の理想」を实践する職業奉仕とは何か。

1911(明治44)年にArthur Frederick Sheldon が語った「奉仕の概念」我々ロータリアン個人が「事業を行うとき、それが社会の人々を幸せにすることであらねばならない」と語り、これが今我々が「職業奉仕」とよんでいる原点であります。当時は未だ日露戦争が終わりそして、第一次世界大戦が始まる前でした。世界が戦争の最中でありながらも、この様な意見が言えるロータリアンが存在した事を誇りに思います。



この職業奉仕Vocational Service という考えは、ボランティア活動や寄付だけを目的とする一般の奉仕団体とは全く違う「ロータリー独自」のものであり、我々ロータリアンすべての心構えでありロータリーの基礎的な理念であり、そしてこれが「職業奉仕」であります。

ロータリーの本質

このロータリーの理念こそが世界の人々を幸せにし、そして戦争は起こらないのである。

まとめ

職業奉仕の理念を基礎とするロータリー理念は、

◎人生において人としてのあるべき姿を導いてくれるもの

◎社長としてのあるべき姿（王道）の一つを学ぶことが出来るもの

◎我々ロータリアンは、例会に出席して親睦を深め、職業奉仕を学び、自己を研鑽し、倫理を高める事こそが日本のロータリーの伝統的文化である

◎我々ロータリアンは、奉仕の理念（理想）を实践する人、すなわち自分でなく他者への思いやりの心を持って他者への最善のサービスを行い、職業奉仕の理念（社会の人々を幸せにすること）を实践する人でなければならない。

◎我々ロータリアンは、あらゆる生活（個人生活・職業生活・社会生活等）において四つのテストを自省し、奉仕の理念（理想）を实践する人である。それこそが「社会の世界の平和につながる途」である。





講演風景（約140名前）



機上の千立堂大寺住持 三原口助智徳信重基師(2017)



千立堂大宗匠へ進呈

三原口助智徳信重基師
加賀 瑞山 作

国際ロータリー第2630地区
パストガバナー 加賀 勝
(参る2021)

掛け分け桜花文茶碗



原尾 勝 様
貴重なお話しを有難う御座いました。

御礼の言葉

